





各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和4年 1月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  清水建設、ビルにOS実装 アプリでIoT機器連動
- (2)  生コン9か月ぶり上昇 東京地区
- (3)  「健康寿命」さらに長く
- (4)  清水建設、採算低下の恐れ 主力の建築 損失引当金が急増

- (1)  **清水建設、ビルにOS実装 アプリでIoT機器連動**

カメラ・案内ロボ…物件価値を向上

*清水建設が、ビルを丸ごとバージョンアップする基本ソフト「建物OS」の導入を進めています。

*空調や案内ロボットといったビル内のネット接続機器を簡単に連動。

*ビルの各所にあるネットにつながるIoT機器をデータ連携させ、人が個別操作しなくてもサービスが機能。

*開発に当たって関連業界の約50社と組み、外部とデータ連携する機能の「API」を構築。各社の機器を一括制御できるようにしました。

*導入費用は、フルスペック版で約8000万円。1施設当たり200万円からで機能を選べる簡易版も用意。

(2021年12月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



- (2)  **生コン9か月ぶり上昇 東京地区**

都心再開発で需要 原料高を転嫁

*生コンクリートの取引価格が東京地区で9か月ぶりに上昇。

(2021年12月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(3) 「健康寿命」 さらに長く

2019年調査 男性 72.68歳、女性 75.38歳

*介護を受けたり寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」が、2019年は男性 72.68歳、女性 75.38歳。

*前回調査の2016年（男性 72.14歳、女性 74.79歳）から男性は 0.54歳、女性は 0.54歳延びました。

*2019年は平均寿命との差が男性 8.73歳、女性 12.07歳となり、初公表の2010年以降、縮小傾向が続いています。

*健康寿命が最長だったのは、男性が大分県の 73.72歳、女性は三重県の 77.58歳。

・最短は男性が岩手県の 71.39歳、女性が京都府の 73.68歳。

(2021年12月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(4) 清水建設、採算低下の恐れ

主力の建築 損失引当金が急増

*ゼネコン各社の2020年度の受注高は、2019年度比 0.7%減の約 15兆円。

・2021年 2021年4~9月期は、前年同期比 13.4%増の約 6兆2000億円。

*清水建設の単体ベースの完成工事利益率の今期見込みは、前期比 4.7ポイント減の 7.6%。

・大成建設は 4.3ポイント減の 10.4%、鹿島は 2ポイント減の 11.6%。

*利益率が悪化する原因は、主に建材価格の高騰によります。

*採算悪化の兆候が表れる指標の一つが、工事で損失が生じる可能性が高いと判明した場合に計上する工事損失引当金。

*清水建設の2021年9月末の単体ベースの工事損失引当金は、直近で最も少ない2020年3月末とくらべて 2.8倍の 157億円。

(2021年12月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

